

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出機会が散歩以外で非常に少ない。 また遠足のような遠方へ行く機会もほとんどない。 外出機会を作ろうとしても人員不足や送迎車不足等の課題がある。	数カ月に1度は遠足のような外出機会を作っていきたい。動物園や植物園など普段味わえない刺激を受けるような場所にお連れし、QOLの向上に繋げたい。	行事委員会を中心に行先の候補を絞り、具体的な日程を決める。そこに向け車両の準備や外出当日の人員を整える。施設内スタッフだけで足りない場合は他施設スタッフや本部スタッフなどの協力を依頼する。	6ヶ月
2	4	運営推進会議において地域から多数のご出席をいただいているが、入居者様が出席していない状況がある。	定期的に運営推進会議に入居者様が参加できる環境を作る。	各入居者様に参加してみたいかアンケートなど行い、参加の意志がある入居者様に対して運営推進会議に参加していただく。	3ヶ月
3	52	環境面で季節感を表す物が少なく、職員と入居者様が一緒に作ったものなどもあまり掲示されていない。	壁やフロア内にレクリエーション時に職員、入居者様が共に作成した作品や季節感が出るような物が掲示や展示されている。	季節感のある「ちぎり絵」や書道の展示などの実施が出来るように必要物品や準備を行っていく。各スタッフにも協力を促し、順次作成していく。またその作成経過をカメラで撮影し、工作風景をブログなどで外部発信を行っていく。	3ヶ月
4	26	入居者様の言葉や家族の意向、かかりつけ医の意見などが反映されていない。再アセスメント時に前回からどのような変化があったのか把握しやすい物に変更していく必要がある。	モニタリングやケアプランの内容が多角的な視点から作られており、前回からの変化も一目で把握しやすい物になっている。	書式の変更を行い、適切な物を完成させる。また適時、入居者様やご家族様に意見を頂く場を設け、ケアプラン等に反映させていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。